

ふるさと再生京都懇談会会員登録票

年 月 日

ふるさと再生京都懇談会の主旨に賛同し、入会を申し込みます

氏名	
団体(あれば)	
住所	〒
電話	
FAX	
e-mail	
コメント	

キ
リ
ト
リ

ふるさと再生京都懇談会のあゆみ

278人の賛同で
ふるさと再生アピールを発表

2010年の京都府知事選挙を前に、自治体やまちづくり運動に関わる11氏の呼びかけでアピールを発表。

京都新聞他、6つの地方新聞に意見広告を掲載しました。



ふるさと京都再生のつどい



アピールを広げるために「住民のつどい」を開催。

岡田知弘京都大学教授の講演、各地からのリレートークで、深刻な現状が浮き彫りになりました。

ふるさと再生号を運行

地域に直接届けようと、ふるさと再生号を運行。

26自治体、89カ所で15日間フル回転。

呼びかけ人や地元弁士が「ふるさとを守ろう」と訴えました。



ふるさと再生京都懇談会の誕生



知事選挙後も熱い思いは変わらず、運動や人を結ぶ継続的な組織が必要ということに。

大江町で合宿を開いて大議論。地域で頑張る人たちとも交流し、お祭りにも参加し、中身の濃い議論を経て、懇談会の立ち上げを決定しました。

ふるさと再生
京都懇談会

- 加入のお誘い -



地域構造改革が進む中で、地方の寂れ・荒廃は深刻な状況になっています。

そんななかでも、住民や行政、NPO、企業が手をつなぎ、地域の宝や産業を生かしネットワークを作り上げががんばっているところがたくさんあります。

共に、交流し、学習を深めましょう。系統的だけど気張りすぎない運動です。

会員特典

各地のふるさと運動を交流するためのニュースをお送りします。

ふるさと再生京都懇談会が企画する交流会や学習会の案内を差し上げます。

年会費 1000円

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2

ラポール京都5F 京都自治労連気付け

TEL 075-801-8186 / FAX 075-801-3482

ホームページ <http://hurusato-saisei.com>

ふるさと再生京都懇談会 申し合わせ

2010年8月8日

地方構造改革「三位一体」の改革が進む中で、地方の寂れ・荒廃は深刻な状況になってきました。知事選挙を契機に、私たちはふるさと再生アピール運動を進めました。

この運動は、地域再生めざす共感を広げる、今までに無い新しい運動として受け入れられ、選挙後も地域の再生運動として推進していこうと議論がすすんできました。

地域の経済を元気にさせ、住み続けられるまち、ふるさとの再生を求める人々がつながりあって、共にすすめる運動はますます重要です。

私たちは、ふるさと再生アピールを進める会の運動を継続発展させ、以下の申し合わせにもとづいて運動し、住民自治や地域経済の活性化の一助となるために行動します。

申し合わせ

第一条（目的）

ふるさと京都が、そこに住むすべての人にとって住みやすく、元気で、笑顔に満ちた人々であふれた場となっていく条件をつくっていくことに寄与する。

第二条（名称）

本会はふるさと再生京都懇談会（以下「会」と略す。）と称す。

第三条（組織と運営）

「会」の目的に賛同する会員によって組織を構成する。

この「会」の運営やとりくみを行うために、会員の中から世話人を選ぶ。

世話人の中から代表世話人を選出し、代表世話人は「会」を代表する。

世話人で世話人会を構成し、世話人会のもとに日常的な連絡などを行うために事務局を置く。

第四条（活動）

「会」は適時交流会、学習会などを行い、地域の住民運動の教訓と住民自治の担い手を広げる。

「会」は地域再生に寄与するために提言を行い、また世論として広げるための行動を行う。

第五条（会計）

この「会」の運営・通信費用は会費及び寄付金による。

定期的な交流会や行事などの費用は、参加者の自弁とする。

以上

（役員）

代表世話人	田中 康夫（木津川市）
世話人	上原 実（精華町）
〃	岡田 龍平（京丹後市）
〃	岡本 やすよ（城陽市）
〃	佐藤 誠（京田辺市）
〃	高向 吉朗（亀岡市）
〃	橋本 洋一（南山城村）
〃	平井 勝（宇治市）
〃	真鍋 宗平（大山崎町）
〃	宮本 繁夫（宇治市）
〃	山崎 住男（伊根町）
〃	渡辺 信夫（京都市）

